

優勝した馬文革選手（中国）

第2回  
ワールドオールスター  
サーキット（卓球）  
白根大会

世界のトッププレイヤー  
白根で熱戦

卓球の国際大会、第二回ワールドオールスター・サーキット白根大会が、一月二十七日カルチャーセンターで開催されました。この大会は一月二十二日から東京都、京都市、西宮市で開催され、白根大会が最終戦。地方都市での国際大会開催の取り組みを見ようと、全国の卓球連盟の理事長ら五十人も会場を訪れました。湾岸戦争の思わぬ影響で、世界ランキング一位のワルドナー（スウェーデン）など三人の有力選手が直前に参加を取りやめるハプニングも。しかし会場には二千六百人の観衆が訪れ、白根市卓球連盟など準備に当たった約二百人もほっと胸をなでおろしていました。

大会は劉南奎（韓国）、クック（イギリス）、渋谷浩など八人の選手によるトーナメント戦で行われ、決勝は于沈潼、馬文革の中国勢同士の戦いになりました。結局馬文革が優勝賞金一万ドル（約百三十万円）を獲得。訪れた人たちはトッププレイヤーの熱戦に惜しみない拍手を送っていました。

草の根の努力に感謝  
荻村伊智朗さん（国際卓球連盟会長）



とてもよく運営された大会でした。本物を見ようという人たちが、白根市を中心として、子供からお年寄りまで本当に大勢集まってくれましたね。宝石でも美術でもそうですが、本物を見ないとそのよさは分かりません。今日の大会では、一流選手による本物のプレーを十分に味わっていただけたものと思います。

卓球がイギリスから日本に伝えられてから今年で九十四年目になります。もはや外来文化とはいえないほど普及しています。才能のある人は全国にたくさんいるんです。その才能が、本物を見ることによって刺激を受け、開花するのです。

人口三万六千人の都市でこれだけの大会を準備するのは大変だったと思います。まさに草の根の努力による成功でしょう。今回も行政から応援をいただきましたが、次の機会にはより以上の大きな応援を期待したいと思います。

卓球の普及に役立った大会  
猪股 勲さん（白根市卓球連盟会長）



大会の要請があったのは昨年の十月末ごろです。一番の心配は入場券がはけるかどうかでしたが、卓球連盟の人たちが一生懸命にやっていたのを見て、買ってくれた人もたくさんいるようです。賞金や運営費に充てる広告協賛金を集めるのも大変でした。二百軒以上回ったでしょうか。

戦争の影響でワルドナーなどトップ三人の選手が参加を取りやめ、一時心配しましたが、影響はほとんどなかったようです。組み合わせも決まっていたし、国際卓球連盟の会長さんが特に配慮してくださって、イギリスのクック選手などを急きよ招待できました。

今回の開催地は東京、京都、西宮と大都市ばかり。そんな中で地方都市での開催の様子を見たいと、全国の理事長さんたちも来てくれました。今回の白根での取り組みが、全国的に見ても、卓球の普及に大いに役立ってくれているのではないかと思います。



→松尾 望さん（白根小5年）の先導で入場行進

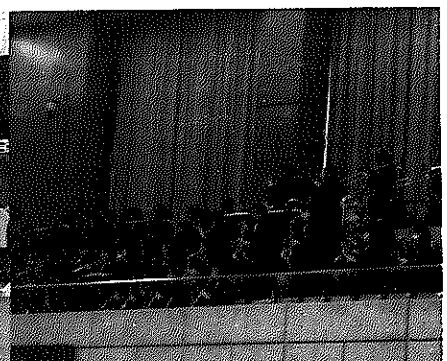
←滝沢市長から記念品を受け取る劉南奎選手（韓国）

↓歓迎レセプションで鏡割りする選手

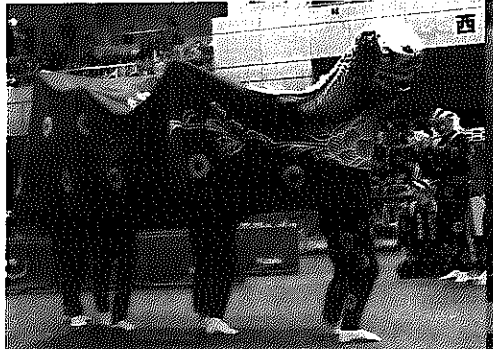
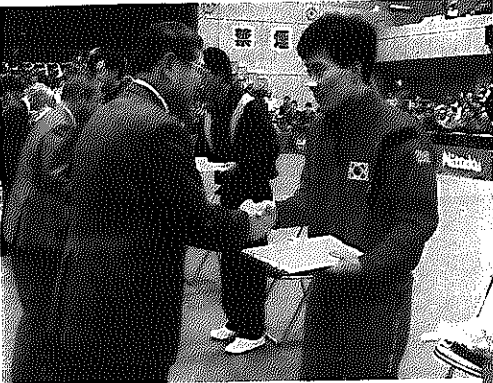


←接戦だった決勝 馬文革 VS 于沈潼

↓2,600人の観客が訪れました



↓魚町神楽連、一中プラスバンド部によるアトラクション



樋口温男さん（曙町）

子供のころに卓球をしていましたが、こういう国際試合を見てびっくりしました。第一に動きが違います。それにスピードですね。子供たちに柔道を教えていますが、基礎の大切さや足腰を鍛えることなど、通じる点があります。

こういうイベントは地方にとって非常にいいことです。地方スポーツの発展につながります。カルチャーセンターができたお陰です。これからもどんどんこのような大会を開いてほしいと思います。



高藤正徳さん（新潟市）

いつもは大会を主催する側ですが、今日は客として楽しませていただきました。卓球の役員をしているので、白根の人たちのご苦労がしのべれます。卓球は地味なスポーツですから、こういう大会でも、一般の人より圧倒的に関係者が多いんですね。

余談ですが、国道沿いにカルチャーセンターまでの案内表示がなく、分かりにくかったです。それと駐車場がなく、仕方なく道路に駐車しました。



伊部 洋明くん  
木村美奈子さん  
木暮 祐子さん  
櫻出 愛さん  
（柏崎市）

柏崎からバスで来ました。こんな国際試合を見るのは初めてです。ドライブがすごい。回転がかかっている。動きもぜんぜん違うし。これからクック選手のサインをもらおうです。渋谷選手と話できて最高です。とても優しい人でした。山本選手からはラケットを見せてもらいました。すごく使い込んであるという感じでした。



中島国一さん（新潟市）

世界の強豪八人が競うことは、世界選手権の準々決勝から決勝までと同等です。素晴らしいの一語に尽きますね。そのプレーを目の前で見ると興奮しています。スウェーデンのワルドナー選手の不参加は残念ですが、世界情勢を考えれば仕方ないと思います。

白根という人口三万六千人余りの都市で、これだけの大会を開催できたことは、白根の卓球愛好者の努力のたまものです。敬意を表したいと思います。